

正覚寺だより

スジャータ

55

平成26年(2014)

元旦発行

〔スジャータとは、6年間の苦行に疲れたお釈迦様に牛乳で作ったお粥を供養したインドの女性の名前である〕

法然共生

平成26年は法然上人の803回忌です

短期集中仏教講座
「五重相伝」満行



平成25年10月26日 五重相伝満行記念

〔住職のつぶやき〕

世相雑感

—このままで大丈夫?—



[住職のつぶやき]

世相雑感

—このままで大丈夫?—

住職／山縣 正紀



(1)

東北楽天イーグルスの日本一に日本中が湧いた。もしジャイアンツが勝っていたら、巨人ファンには申し訳ないがアンチ巨人が急増していたかもしれない。

今回はただ野球の試合に止まらず、あの震災からの再起と重なり大きな感動を生んだ。田中将大投手の活躍も伝説化しそうである。

ただプロ野球を観ていていつも感じることだが、選手達は試合の前後になぜお互い挨拶をしないのだろうか？

アメリカ生まれのスポーツなのでドライな伝統かもしれない。だが日本の高校野球では行われている。プロ野球でも取り入れて欲しいと常々思っている。

負けた巨人の選手とも、その健闘を称え合うスポーツマンらしいシーンがあれば、あの日本シリーズ最終戦はさらに爽やかな感動を私達に与えたことだろう。

(2)

昨年1年間には色々なことがあった。

2020年東京オリンピック招致成功も華やいだ明るいニュースである。

「でも何故？天候の穏やかな秋ではなく酷熱こくねつの8月なんですかあ？」

「アメリカのテレビ放映権の絡からみらしい」

「ヨーロッパのサッカーの都合もあるかも」

「それって変ですよ」

「メインスタジアムには屋根をかけエアコン入れるから大丈夫」

「それは益々変だ」

「巨額の建設費とオリンピック以後の維持管理は大丈夫なの？」

「電力は？」

歓迎祝賀ムードに水を差すようで心苦しいが、首都圏への一極集中もさらに加速され、地方の益々の疲弊ひへいなど新たな問題も生じそうである。

(3)

リニア中央新幹線、東京と名古屋を約40分で結ぶという。今まで何かにつけて時間の短縮、効率改善ばかりを追いかけて来た私達は、それだけ幸せになっただろうか？

運行には膨大な建設費と過大な消費電力が必要である。

「今の新幹線でもう十分です」

という気持ちも大切ではないか。

少子化の中で、すでにある公共建造物の補修管理も十分に行う必要がある。

だから、もうリニアモーターカーは無くても良いと感じる。

(4)

原子力発電についても色々と議論されている。いくら安全な原発が出来たとしても、それを運用するのは間違いばかりする人間である。

人為ミスの多い福島の後を思うと、完全に安全な原発は無理なのではないか。

また放射性廃棄物の処理が出来ないのに原発を続けることは、下水処理場の無い水洗トイレを使い続けるようなものだ。使う

方は清潔で便利だが、一方で汚物が貯まり続けているのが今の状態である。険しい道だが原発のない方を選びたい。

(5)

「デザイナーベビー」という言葉をご存知だろうか？

受精卵を選別したり遺伝子操作をしたりして、容姿や能力など親が望む特徴を持って生まれて来る赤ちゃんのことである。

今のところ、まだそんな赤ちゃんは誕生していない。だが昨年9月アメリカで、生まれてくる子供の目の色や背の高さ、癌などの病気になるリスクを予測する手法の特許が認められた。

この技術を使うと「デザイナーベビー」の誕生が可能になりそうなので生命倫理の専門家から批判が出ている。

医療技術の発展は素晴らしいが、こと「命の誕生」に関しては既に行き過ぎではないか。

日本産婦人科学会によると、2011年に生まれた赤ちゃんのうち、すでに32人に1人は体外受精などの高度な医療によって生まれたと言う。また第三者が提供した精子、卵子を使ったり、妻以外の女性による代理出産も行われている。

本来は授かりものの赤ちゃん。「命の生

産、選別」につながる昨今の状況は人間が人間の力を過信している。踏み込んではない領域まで入り込んでいるのではないだろうか。

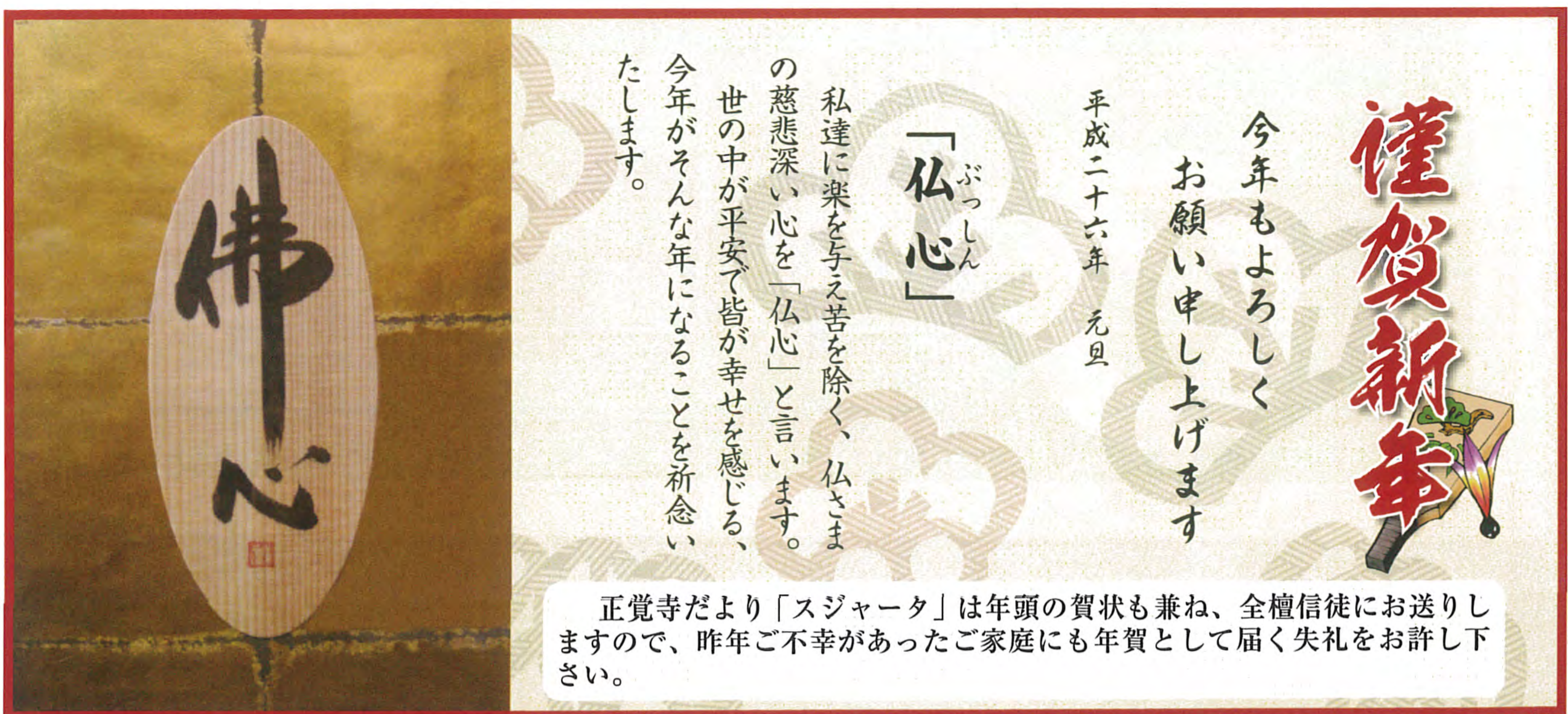
(6)

経済の状況も上向いているらしい。新年早々、そんな明るい雰囲気壊すようだが、素人の素直な感想が案外「的を射る」事もある。

きっと、すさまじい環境破壊と莫大な予算で成り立ち、軍事技術とも連結する宇宙開発ももう程々で良い。

少し謙虚になって、
「足るを知る」
「もうこれで十分です」
「便利になって、豊かになって困った事がふえてきた」
そんな気持ちになった方が良いのではないか。

「技術的に可能なことは、すべてする」
「それは良い事である」
と言うのは、
「法にふれなければ、何をしても良い」
「それは悪い事ではない」
と同一思考に感じるのだが、それは少々極端だろうか？



仏法を伝える 五重相伝

ご じゅう そう でん

—短期集中仏教講座—

○昨秋 10月 27日 45名が満行されました

5日間毎日、朝から夕方まで正覚寺で過ごして頂くのは中々大変なことです。法話を聴き、お念仏を称え礼拝し、縁ある方のご回向をする。この五重相伝に今回も多数の方が参加して下さいました。

「暇だから来た」

と言う方は唯一人もありません。

年配の方は体調を整え、若い方は仕事の段取りをつけ、また遠くは鎌倉からも来て下さいました。そして、

「荘厳さ、スケールの大きさ、お世話下さった多くの和尚さま方の真剣さ、凄さに接し、本当に圧倒される思いでした」

「5年後にも、生きている限り身体が動く限り、また五重相伝を受けたい」

「厳粛な中での戒名授与、今も目に焼き付いています」

など、

「参加して良かった」

と言う感想の手紙などが寄せられました。

催した住職としては、浄土宗の教えが伝わってゆく事がとても有り難く、又嬉しい事でもありました。



○次回は平成 30 年の予定です

五重相伝は開催する住職とその家族にとっても、心身ともに試練の機会です。かなり前々からの準備が必要で、期間中は近隣の寺院住職10名余りにも泊まり込みで手伝って頂きます。

これまで5年ごとに開催出来たことに感謝しながら、次回も開催出来るよう精進してまいります。因みに言えば、5年以内に定期的に開催している寺院は全国で74カ寺、浄土宗全寺院の内わずかに1%に過ぎません。

今回色々な事情で参加出来なかった方々は、是非次回ご参加下さい。少しでも若いときの参加をお勧めいたします。

感謝録

誠にありがとうございます。五重相伝にあたり大切にに使わせて頂きました。

五重相伝 発起人

五重相伝 お供え

「発起人」とは…

参加者の会費を出来るだけ抑えて、多くの方々に参加して頂くために開催費用の一部を負担して下さいます。

修正会と新年互礼会

日時／平成26年1月14日(火) 朝11時より

毎年、新春を祝う会を行っています。景品の当たるゲームなども行う誰でも参加出来る会です。
ご遠慮なくお申し込み下さい。

場 所

／正覚寺本堂

会 費

／3,500円(お弁当代他)

申し込み

／1月10日までに電話などで

春のお彼岸

3月21日(祝)

■ 朝10時より



総本山知恩院

高齢者招待祝賀会

今年80歳を迎える方々
どうぞご参加ください。

- ◆日時 平成26年4月18日(金)
- ◆場所 総本山知恩院
- ◆招待者 昭和9年生まれの方と
同伴者1名
- ◆申し込み 2月末日までに正覚寺へ
ご出席の方には詳しい案内状をお送りします。尚、当日出席出来なくても、申し込みの方には記念品をお届けします。
- ◆その他 交通費は各自でご負担下さい。

平成26年 年回表

平成26年の法事は下記の表の様になります。
参考にして各家の位碑などを調べて下さい。



毎月1日、写経の会の様子

1 周忌	平成 25 年亡
3 回忌	平成 24 年亡
7 回忌	平成 20 年亡
13 回忌	平成 14 年亡
17 回忌	平成 10 年亡
23 回忌	平成 4 年亡
(25 回忌	平成 2 年亡)
27 回忌	昭和 63 年亡
33 回忌	昭和 57 年亡
37 回忌	昭和 53 年亡
50 回忌	昭和 40 年亡

今年の主な行事案内		
写経の会	毎月 1 日	13:30 より
念仏の会	毎月 14 日	13:30 より
新年互礼会	1 月 14 日 (火)	11:00 より
春彼岸会	3 月 21 日 (祝)	10:00 より
大掃除	6 月 1 日 (日)	9:00 より
盆棚経法要	7 月 13 日 (日)	9:00 より
盆施餓鬼会	8 月 15 日 (金)	9:00 より
秋彼岸会	9 月 21 日 (日)	10:00 より
参拝旅行	11 月 4 日 (火)	より2泊3日
十夜法要	11 月 16 日 (日)	10:00 より

修行中 ちおん 修行中!!

住職の次男「知恩」は、中学1年生の時に得度、つまり出家して仏門に入りました。その後、京都の佛教大学、仏教学科へ進学し現在4回生です。

大学と併せて、黒谷道場などで修練を重ねておりましたが、この度、総本山知恩院で行われる僧侶資格取得のために必修の「加行」に入行しております。この原稿は年内に書いていますが、12月25日には満行しているはずです。

満行して大学を卒業すれば一応浄土宗僧侶となりますが、無論スタート台に立ったに過ぎません。暫く京都で一般会社勤めをして社会経験を積む予定です。

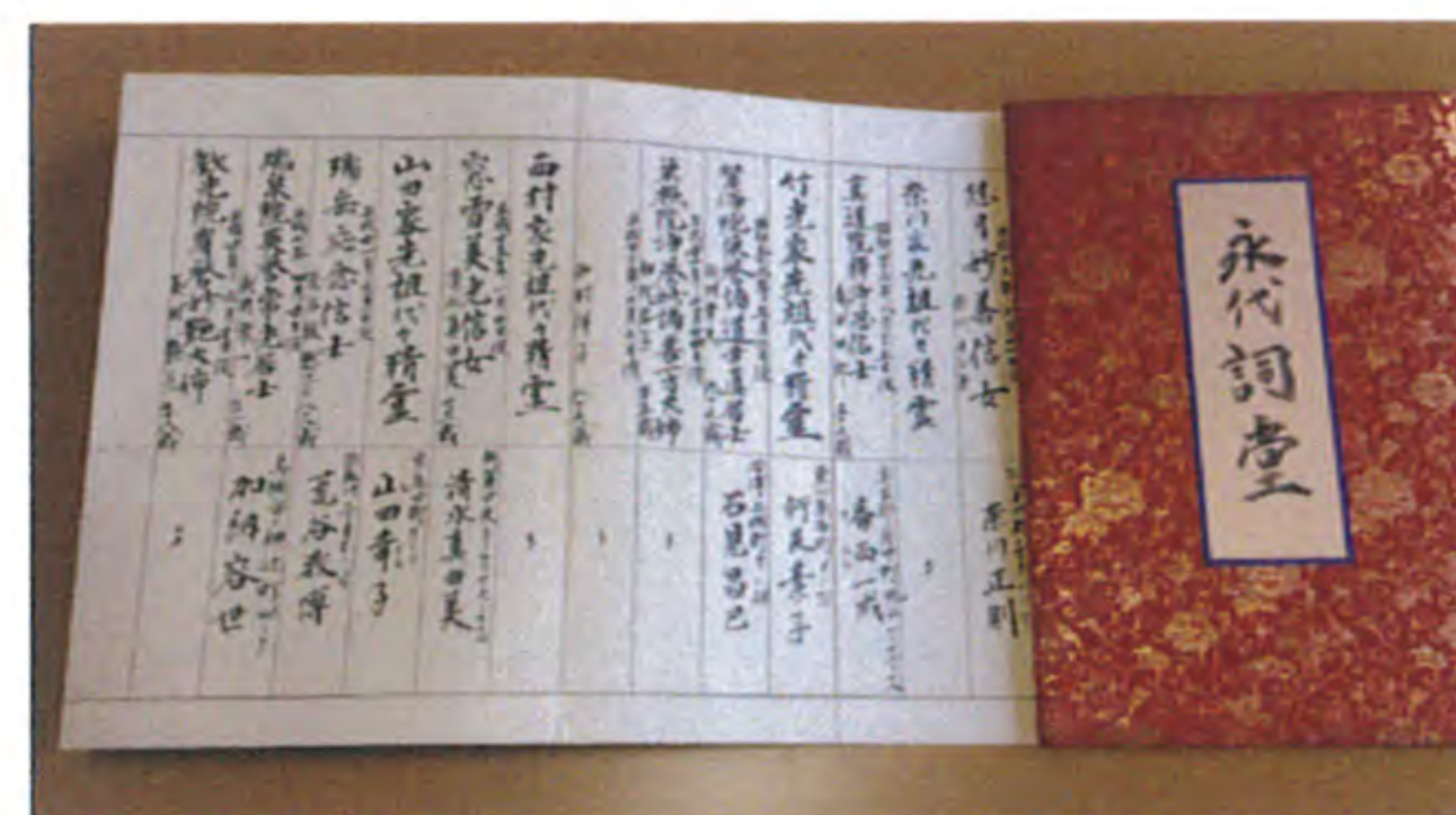
尚、長男の「雷音」は、その「加行」満行後さらに志す者のみで行われる1年間の「浄土宗教師修練道場」で現在も修行中です。

今年の3月末には満行、正覚寺に帰って法務に携わる予定です。



あ と が き

- 少子化や子供の市外への転出などにより、先祖の供養また仏壇や墓石の維持管理が出来にくい家庭も増えてきています。
- 家々によって状況が違うので一概には言えませんが、ご不安の方はどうぞ正覚寺にご相談下さい。
- 永代供養や、誰もが入れられる合同墓を利用することも出来ます。



いつも本堂に祀ってある永代供養の過去帳



発行所 / 〒737-0033 呉市寺本町 2-1 浄土宗 正覚寺
 でんわ / 0823-21-6086 Eメール / shoukaku@orange.ocn.ne.jp
 FAX / 0823-22-9922 郵便振替 / 01300-5-13754